

## 会議録

会議の名称	川島町学校規模適正化検討委員会第6回会議			
開催日時	平成26年1月23日(木) 午後1時30分～午後3時18分			
開催場所	川島町民会館 1階 研修室			
議題	(1) 会議録署名委員の指名 (2) 小委員会第2回会議について(報告) (3) 川島町学校規模適正化基本方針中間とりまとめ(案)について (4) その他			
公開・非公開の別	公開			
非公開の理由 (非公開の場合のみ)				
出席者	委員	第1号委員 加藤静一、梶野賀一郎、栗原 保 第2号委員 鈴木俊夫、伊藤禎章 第3号委員 岡部俊夫、山崎 武 第4号委員 佐藤路傍 第5号委員 新井真理子、黒岡諭志、染矢洋文、大畑 修 第6号委員 藤間文隆、矢部京子、山口扶由子		
	事務局職員	教育総務課 渡辺英夫、大野喜裕、金井桂子		
配布資料	資料1 川島町学校規模適正化検討委員会第5回会議録 資料2 川島町学校規模適正化基本方針中間とりまとめ(案)			
審議会等の内容・概要				
1 開会	教育総務課長			
2 あいさつ	加藤会長			
3 前回会議の会議録について(報告)				
4 議事	(1) 会議録署名委員の指名 ・佐藤路傍委員と新井真理子委員を指名した。 (2) 川島町学校規模適正化基本方針中間とりまとめ(案)について ・事務局が修正箇所の確認を説明する。 (3) その他			
【質疑】				
会長・事務局より、川島町学校規模適正化基本方針中間とりまとめ(案)の修正、訂正の説明をお願いします。				
課長・《案の修正箇所について説明》				
会長・ただいまの事務局からの説明に対しまして意見がありましたら、お願ひいたします。				
委員・前回までの会議の修正等について意見が出て、小委員会でやってまた中間とりまとめは、よくできている。				
委員・中間とりまとめを教育委員会へ提案するためにということで、理解できた。				
委員・PTAの立場で他の方にも届かない意見をいただければいい。				
委員・報告書の書き方として、結論が途中にあるので先に書いた方がいい。				
委員・「はじめに」で書いてあるから、このままでいいのではないか。それから1ページの「はじめに」の下から3行目に川島町立小学校規模適正化基本方針(案)と書かれているが、(案)は削除した方がいい。				

議長・これから協議することは、これから準備段階について意見を頂きたい。

課長・中間とりまとめは9ページのゴシックで記してある「1学年あたりの学級数は複数とする。」、「全学年の学級数は12学級以上18学級以下とする。」を適正規模ということで、中間でまとめさせてもらうものです。10ページの8はどのように統合していくか、配置、手段など具体的な内容について、今現在、考えていることをお聞きして、小委員会で整理し、また皆さんにお諮りしたいと考えます。

委員・仮に4校を2校ずつとすると、1学年あたり複数というのに合致しない。となると4校統合すべきだ。

会長・小見野小と八ッ保小、三保谷小と出丸小を第1統合として、第2次で4校を統合するか。最初から4つを1つにするか？

委員・どうにかして2学級をということになると、中山小も平成28年には、37人で1学級の学年ができるので、そこまで考えないといけない。

委員・4校でなく6校か、すばっと打ち出せない。5年後の平成30年度の数字をどういうふうに押さえるか。

委員・4校で進んできたから4校を統合した際に、既存校を利用してよりは、新設校を造って4校を統合し、中山小・伊草小も減少が予想されるので6校が入れるような建築をしておくこと。まずは4校そして中山小、伊草小も視野に入れておく。

委員・私の意見は、H28年には、中山小も37人だから、やるなら6校すべてがいい。

委員・1学年あたりの学級数が複数でないといけないとなると進まない。

委員・教育委員会へ提案するための会議と言われたと思うが、出丸小学校だって今、成り立っているんだから、行政に児童数を増やせるよう頑張ってもらいたい。スクールバスで、いざ合併したら、運動能力が低下していると報道されている。データを収集してスクールバス利用で、運動能力が低下しているか提案して欲しい。

委員・誤解があるといけない。どんな規模であっても与えられた規模の中で努力している。子供の人数が多くればより効果的な良い影響を与えられるだろうと検討しているのが、この中間とりまとめである。過大に多すぎても問題があり学校を造っているのだから、適当な人数がここに書かれている。

委員・この会議に出るのが2回目で、混乱しているが、12学級以上で4校がいいのか、2校ずつか、既存か新設か考えないといけないのか、混乱する。

委員・学校を統合して新設にした場合どのくらいかかるのか。西中、川中も少なくてクラブ活動も容易にできないと聞いているので、考えないといけない。

委員・今年の児童数を踏まえた方向性で4校を1校で良いと思う。川島町子ども子育て会議の委員もしていて、子育てしやすい環境が求められている。外国人と生活していくためにというテーマもあった。町の活性化を考えると、この町に移住してきても小学校が1つになってスクールバスというのでは、人口を増やすのをあきらめている町だと思われ、転入してこない。町でも施策を考えてほしい。現実には、4校を1つに、複式学級は避けた方がいい。

委員・4校を1つにと考えて、この会では2校ずつとは言っていない。町の財政はどうか。既存の1校を利用するはどうか。

委員・中山小と八ッ保小、小見野小を統合し、伊草小と三保谷小、出丸小を統合しては、どうか。2クラスずつあり、広いので、通学手段のこともあるが、2校にしたらどうか。

委員・八ッ保小の複式学級が始まるところから、三保谷小、出丸小、八ッ保小、小見野小の4校については、早くやるべきだ。4校には1学年に1学級しか教室がない。今は中山小、伊草小より、4校を考えるべきだ。いずれも昭和45、6年に建てられたので、老朽化している。60年で大規模改修、建替えの時期になる。新設は普通に考えても用地買収から5年10年かかるから、早く検討した方がいい。

委員・今後検討すべき事項で何校の統合か、4校で10年もかかるとはがっかりした。早

くしてほしい。

委員・4校が統合で、新設校がよく、最短になるための会議の意見を出せばいいと思う。

委員・4校を1校にすると、どこに学校ができるか気になる。中央に造るとなると端の子はどう通学するか。学校の場所によっては、小見野の子は中山小学校へ行きたいと言ったらそれも可能にしてほしい。なるべく多くの人の意見を取り入れてほしい。バスを使うと学年で帰る時間が異なる。幼稚園バスも1便2便とあった。クラスによって集まる時間も違った。

副会長・どこの学校へ行けるか、通学の距離、手段、学校と地域、施設はどうか、新設か増設するか、6月まで議論して、意見を出してほしい。新設校を農振地域に建てるのは、さまざまな段階、手続きがあり、簡単にはいかない。十分な検討が必要である。

5 閉会 副会長

署名	佐藤路傍	印
	新井 真理子	印